

# 第二地区福祉委員研修会

川村義肢 出前講習会

日時 3月23日  
場所 ふれあいセンター  
第四学習室



ゆとりある

豊かな生活を築くために

義肢・・・失った四肢の外見や機能を補うために使う器具

パラリンピックでスポーツ用の義足や車いすを目にする機会は増えましたが、実際に見る機会はそんなに多くありません。

今回いろいろな義肢を見せていただきました。義足は膝上と膝までのもの、カッパと呼ばれる、足に義足を付ける部分は好みの色や柄にでき、大阪バージョンのヒョウ柄、好きな画家の絵、子ども用のかわいいものなど。温泉用に穴が2つ空いたものもありました。

ひとりひとりに合わせ、型をとり調整を重ねるため、できるまで約2週間かかります。一見本物に見える耳や指などもありました。

また、ペットボトルやビンの蓋を軽く開けられる道具、災害時の緊急避難やアウトドア活動の時、車いすに装着し人力車のように前輪を浮かして引き、段差やぬかるみなどの負荷を軽く

する「けん引レバー」など福祉道具も取り扱っています。

以前、永六輔さんが人は障がい者と障がい者予備軍しかいませんと言っていました。病気が事故にあわなくても、年を重ねていけば視力、聴力、体力など衰えていきます。

障害の程度にあった道具を選べば、生活の質が向上します。そのために技術を磨き、情報発信をしている会社でした。(原田)



2022年度 決算報告書	
2022年4月1日～2023年3月31日	
収入の部 (単位:円)	
科目	金額
前期繰越金	902,562
事業運営補助金	368,750
基本補助金	100,000
会員会費(還元金)	268,750
活動支援事業配分金	132,500
負担金(行事参加費等)	419,900
小地域ネットワーク活動補助金	500,000
雑収入	96
合計	2,323,808
支出の部	
科目	金額
運営費	225,289
事務費	68,224
会議費	41,299
諸会費	2,000
備品費	113,766
その他	0
部会活動費	1,124,272
小地域ネットワーク部会	111,237
事業部会	528,929
ボランティア部会	4,568
子育て支援部会	12,655
広報部会	83,926
世代間交流部会	0
配食サービス部会	382,957
寄付金	0
次期繰越金	974,247
合計	2,323,808

## 子育てサロン

幼児を遊ばせながら、親同士が互いに子育ての話や悩み事などを通じて、繋がる機会を福祉委員がお手伝いします。

### 開催予定

- ・実施日 毎月第2水曜日(8月はお休み) 10:00～11:30  
**9月13日、10月11日、11月8日、12月13日**
- ・場所 ふれあいセンター 2階 軽体育室
- ・対象 0歳～就園前のお子さんとその保護者  
どちらにお住まいでも参加可能です
- ・参加費 無料です
- ・申し込みは予約制で、先着順・定員15組程度です  
保護者氏名、住所、電話番号、お子様の名前(ふりがな)、生年月日を記入し、メールで申し込んでください  
(前月21日から受け付けます)  
申し込み用メールアドレス  
kosodate.f2@shimamoto-jp.net  
受付完了にて別途メール返信します  
(当方のメールを受信可能に設定してください)



委員会 HP



自由あそび中

## 献血にご協力を!

献血協力者の深刻な減少が続いています。  
安定した輸血用血液の確保に、皆さんのご協力をお願いします。



実施日時 9月10日(日) 午前10時～午後4時  
予定会場 ふれあいセンター

## ふれあいと安否確認の配食サービス

高齢者や障がい者の方々に対して、配食を通じて安否確認をすることにより、在宅生活を支援することを目的として実施しています。

- 実施日 毎月第3火曜日 但し8月はお休み
- 対象者 ・65歳以上の一人暮らし  
・75歳以上の夫婦  
・介護を必要とする人とその介護者
- 費用 1食 100円の自己負担
- 実績 昨年度 1回平均101食を提供しました

### ボランティア募集

- ・調理：午前中2時間程度(ふれあいセンター)
  - ・運転：ふれあいセンターから拠点集合場所まで
  - ・配達：拠点から利用者宅まで
- 空いている時間を少しお貸し願えませんか  
随時募集しています

ボランティア登録者 93人  
(調理・運転・配達/安否確認 等)

問い合わせ 島本町社会福祉協議会 ☎962-5417  
磯上 ☎925-6842 池尻 ☎961-2753

## ふれあい

ご利用されている方もいると思うが、JR各社で販売している「青春18きっぷ」を紹介する。販売時期は、春季、夏季、冬季の限定で、JR各線の普通・快速切符が1日乗り降り自由で使える割安な切符(5枚綴り、12,000円)である。この切符、当初は若者向けに企画販売されたそうだが、今では比較的時間に余裕のあるシルバー世代にも人気のある切符の一つだ。

私自身、50歳ごろから友人と、または一人で、近畿、中国、北陸、信州、東海方面へゆつくりと財布に優しい旅を楽しんでいる。特急列車の旅と違って、時間調整で駅に長い時間停車することがあり、その時は改札口を出て街並みを散策する。普通列車ならではの人のふれあいや、景色を楽しむ。この切符を利用した味わい深いところのひとつとして、友人に勧められた島根県石見銀山近くにある「温泉津温泉(ゆのつおんせん)」を訪れたことがある。快速・普通列車を乗り継ぎ朝から一日かけての旅路である。朝6時に大阪駅を出発し、姫路駅で乗り換え、伯備線で新見駅から鳥取県の米子駅に到着、ここで1時間半あまりの時間待ち。山陰本線の列車に乗り換え、夕暮れ6時前によく温泉津駅へ、バスを経て宿へたどり着く。

賑やかな歓楽街は見られず、鄙びた日本旅館が両側に立地する静かなレトロな街並みが強く印象に残る。昭和49年公開の渥美清主演「男はつらいよ 寅次郎恋やつれ」の舞台となったとのこと。この地は素朴で温かい人情が感じられ、機会があれば今一度訪れたいところである。

新型コロナウイルスもやっと落ち着き、3年ぶりにこの「青春18きっぷ」を再開したいと思う今日である。